

構想ではなく、意見をまとめる

尾張旭市平子町北地内市有地利活用懇談会としての「意見のまとめ」の取りまとめに向けて、7月と9月に会議が開催されました。

▼第4回、第5回懇談会が開催

7月17日(金)19時より行われた第4回の懇談会では、会として「利活用構想(案)」の取りまとめをせず、これまでの意見を整理して列挙する「意見のまとめ」を作成することとしました。会では「環境と建物のバランスを考える」「市街化調整区域内での開発となることは無視できない」「いろいろな世代が利用できる場とする」等の意見が出されました。

こうした意見を元に作成した「意見のまとめ」について、9月30日(水)19時より行われた第5回懇談会で改めて確認・議論されました。

なお、意見を述べ合うのは第5回で最後とし、今後は、「意見のまとめ」をわかりやすい形にした「平子町北地内市有地の中長期的利活用構想案」を市で作成し、懇談会に報告後に公表する予定です。

▼保短OGミニ・トークショー開催

6月21日(日)に旧名古屋市立保育短大の元教員、卒業生を尾張旭市文化会館あさひのホールにお招きし、「ミニ・トークショー」として、当時の様子を語り合ってもらいまし

た。聞き手に、尾張旭市平子町北地内市有地利活用懇談会座長である名古屋産業大学の内山教授、話し手として同校元教員で現椛山女学園大学の後藤教授など、計8名に登壇して頂きました。

ミニ・トークショーでは、当時の写真が多く投影され、同校設立に寄与された珠川学長の式辞が録音されたもの、同校附属実習園を取材したテレビ番組の一部が上映・披露されました。また登壇者が同校学園歌「あかねさす」や、実習園園歌「ふたばの歌」を会場と一体となって唱うという一幕もあり、内容盛りだくさんの中で閉幕しました。

なお、同校の様子をふりかえるパネル展示「あの頃の尾張旭キャンパス展」も開催されました。



ミニ・トークショーの様子